

◎福祉教育(車いす体験)(東大和市立第二小学校)

南街・桜が丘地域防災協議会 本部

小学生(4年生、3クラス)を対象として、「福祉教育(車いす体験)」が実施されました。これは東大和ボランティア・市民活動センター(東大和市社会福祉協議会 内)の活動の一環として、年初に、市内10小学校・5中学校にパンフレットを配布・実施依頼をし、10月18日に第二小学校で実施されたものです。

★車いす体験(1クラスづつ)



車いすはどのようなものなのか、体験して下さい。



段差を越えましょう。



柔らかな地面と、片側の脱輪を体験。



ロープの、でこぼこを越えて。



最後は狭い路地を抜けます。

★福祉のお話



皆さんどうでしたか。
「福祉」とは
ふつうの
くらしを
しあわせに

★「自立生活センター東大和」の方々とのお話(3クラス合同)



「自立生活センター東大和」
の方々とお話しましょう。
たくさん質問してね。



いろいろの質問が出ました。



東大和ボランティア・市民活動センターが できる福祉教育のご紹介



下記の内容で福祉教育を行っています。当センターでは、実際に当事者の方と交流するということを大切にしながら、様々な体験を行います。福祉体験を通じて、身近な地域に暮らす障害のある人や、高齢者を含めさまざまな人々と関わり、思いやりの心や障害者理解などを深めていきたいと考えております。それぞれ、2時間(授業2コマ)程度で体験できます。日程等のご相談に乗りますので、センターまでお問合せください。

体験の流れ(例)

※点字体験の場合

<1時限目>

視覚障害の方による講話(生活する上で工夫していること等)

<2時限目>

点字体験

(初めに点字の打ち方をお伝えし、実際に体験する)

④アイマスク体験

<内容>

- ・視覚障害の方の講話
 - ・ガイドヘルパー(視覚障害の方が移動する時に案内する方法)の基本的な動きの指導
 - ・アイマスク体験
- <用意していただきたい物>
- ・アイマスク(ない場合はセンターで貸し出します)



①点字体験

<内容>

- ・視覚障害の方の講話(東大和市内に在住の視覚障害の方や元パラリンピック選手の講話)
- ・点字の打ち方指導(指導後には自分の名前などを打ち、実際に視覚障害の方に点字を読んでもらいます)



⑤高齢者疑似体験

<内容>

- ・高齢者疑似体験セットをつけ、階段などの歩行を体験する。
- ・東大和市内の高齢者の状況などを説



②車いす体験

<内容>

- ・車いすで生活している方の講話
 - ・車いすの操作方法の指導
- <用意していただきたい物>
- ・コインやマット
- (ない場合は別のもので対応します)



③手話体験

<内容>

- ・聴覚障害の方の講話
 - ・手話を指導(簡単な挨拶や自分の名前の表し方、手話コースを体験)
- <お願いすること>
- ・イヤホンやヘッドホンをお断りください



⑥福祉学習

<内容>

- 精神・身体・知的障害など、それぞれの障害をテーマに職員や当事者がお話し



<お貸し出しできる物品>

- ・高齢者疑似体験セット(大人用が10セット、子ども用が10セット)
- ・妊婦体験セット(2セット)
- ・車いす(10台まで)



東大和ボランティア・市民活動センター
(東大和市社会福祉協議会内)
TEL: 042-564-0035

以上